

お客様各位

新年のご挨拶

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

昨年、日本経済はデフレ脱却と「金利のある世界」への移行という節目を迎え、賃金と物価の好循環への転換が期待される中、日銀によるマイナス金利政策解除や17年ぶりの政策金利引き上げが実現しました。金融環境の影響を比較的受けやすいといわれる不動産においては、金融環境の変化に機敏かつ柔軟に対応することの重要性が一層増しております。また、過去最高を更新した訪日外国人旅行者の増加により観光業を中心に恩恵を受けた一年でもありました。本年もこの流れは継続することが期待される一方、人手不足や建築費の高騰といった課題も顕在化しており、オフィスやホテルの建設に取り組む当社グループにとっても対応力を問われる局面になっています。こうした課題は、人口減少という社会構造的な要因に基づくと考えられる一面もあり、自治体や協力業者様との強固なリレーションシップを強化するとともに、現場における試行錯誤や創意工夫を重ねることで得られる独自の知見やノウハウを高め、これらの課題解決に持続可能な方法で取り組んでまいります。当社グループの主力事業を展開する東京都心のオフィス市場においては、昨年、大型新築オフィスビルの供給が限定的であったことから、空室率の低下と賃料の上昇が続きましたが、本年は、昨年の2.7倍に相当する面積の新築オフィスビル供給が見込まれ、競争は激化することが予想されます。加えて、オフィス回帰や人的投資の強化が進む中で、オフィスには、従前通りの「スペース」としての価値ではなく、社員のモチベーションを高め、一体感を醸成する場としての価値がより一層求められています。その結果、オフィス市況全般が堅調に推移する中でも優勝劣敗は鮮明になってきています。当社グループは、テナント様や社会に付加価値を提供する、差別化された空間づくりと利活用に努め、持続的かつ成長性のある事業を展開してまいります。

昨年、当社グループは、設立25周年という一つの節目となる一年を迎えさせていただきました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。本年は、現行の中期経営計画の最終年度（2025年3月期）にあたり、かつ新たな3ヵ年の中期経営計画がスタートする重要な一年となります。着実に目標を達成すると同時に、次の3年、さらには10年にわたり持続的に成長する企業グループであり続けるための足掛かり、起点になる年であると位置づけております。既存の各事業の強化に加え、新規事業領域への果敢な挑戦を継続する上で、その実現の鍵となるのは人財です。前述した、競争が激化している中で差別化された空間づくりを成していく源は、お客様視点のものづくりと、そこにいる「人」が生み出す心温かいサービスです。その「人」こそが当社事業における価値の源泉であり、人財育成こそが当社の生命線と言えます。価値観を共有した集団の力を発揮するための土壌を育み、一人ひとりが能力の向上に取り組む続けることこそが、唯一無二の新たな価値を生み出すことに繋がります。

私たちは、志高き夢を追い、楽しみながら世の中に役立つ事業を構想し、未来価値創造に挑み続ける企業グループを目指し、本年も全力で取り組んでまいります。

結びに、皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年1月1日

サンフロンティア不動産株式会社
代表取締役社長 齋藤清一
従業員一同